

雪まるかじりツアー

～とことん！！雪合戦コース～

1月4日(木) ～ 1月6日(土)

IN 兵庫県立兔和野高原教育センター

	午前	午後	夜
1日目	施設に向け出発	レクリエーション	作戦会議
2日目	がちんこ雪合戦①	がちんこ雪合戦②	キャンドルファイア
3日目	片付け・ソリ滑り	施設を出発・解散	

一日目： 2018年初めのキャンプが始まりました。現地の雪の状況は十分の多さで、雪を堪能出来そうです。尼崎からバスに乗り、兔和野高原へ向かいました。バスが北上していくと、うっすらと山に雪化粧がかかり、進むにつれ道の脇や家の屋根などにも雪が積もっている様子が伺えました。それを見たメンバーは大いに喜び、興奮されていました。施設に到着すると、一面銀世界です。都市部とは違う寒さに皆ふるえていました。持参したお弁当で昼食を済ませ、雪遊び出来る格好に着替え、雪遊びの諸注意をしっかりと聞いたら出発です。雪合戦会場に到着すると、まず雪に慣れる為と足場を踏み固める為に走り回りました。ある程度踏み固められたら、次は雪合戦コートを作るために、人が隠れる事ができるほどの壁(シェルター)をいくつも作りました。辺りから雪をかき集め、ソリで運び、固める作業をひたすら繰り返して作りました。シェルターに穴を開け、越しで見えるような工夫もされていました。コート作りが終わると、職員さんから施設の使い方、布団の敷き方、片付け方など細かく教えていただきました。夕食はボリューム満点のハヤシライスとコロケです。みんなお腹が空いていたようで沢山食べておられました。夕食後は明日の雪合戦に備えて、屋内でボールを使って模擬試合を行いました。細かいルールを一つずつ確認し、それをもとに実際に行いました。試合を進めるたびに徐々にどうすれば勝つ事が出来るかを話し合い、行いました。模擬試合の後には明日に向けて作戦会議を開きました。各グループ勝つために一生懸命話し合いをされていました。気が付けば入浴時間が迫り、入浴後は寝る準備をして、就寝です。雪の中での活動は思っている以上に体力を消耗します。ゆっくり休んで明日頑張りましょう！！

二日目： 昨夜はぐっすり寝られたので、朝から元気な声が廊下に響き渡っていました。朝食をしっかりと済ませたら、準備をし、昨日作ったコートで雪合戦開始です。試合の前に「雪玉」をみんなで協力して作りました。初めは柔らかい雪に苦戦されていましたが、コツを掴むと、拳ほどの大きさの雪玉を作られていました。今回は2チームしかないの、ひたすら雪合戦を繰り返しました。序盤は昨夜の模擬戦の方法で戦っておられ、個人プレイが多く見られました。何度も何度も話し合い、作戦会議がなされ、その度に段々と連携プレイが見られたり、話し合って協力されたりしている姿が伺えました。一旦午前の部は終了です。いっぱい動いたので、いつも以上に沢山食べておられました。昼食後は、午後に向けて「アイテム」を増やして行きます。アイテムは試合を有利に運ぶもので、多種多様なアイテムをゲットしました。午後からはアイテムを使うので、戦略も新たになります。各チーム沢山の意見が飛び交っており、アイテムを使用する事で、メンバーの活躍も目立ちました。試合も単純な内容から複雑な思惑が見え隠れする



濃い内容へと変わりました。雪玉に当たる確率も減り、ヒートアップしました。最終試合はドローで終わったので、試合結果は明日に持ち越しです。日も暮れ、屋内に戻ると今までやってきた雪合戦の振り返りを行いました。試合中に感じた事、気付いた事、頑張った事などを書きました。また、試合中の友達のスーパープレイも振り返りました。そして、最後雪合戦から感じ、学んだ事をこれからの生活にどう活かしていくかを話し合いました。夕食後は、最後の夜という事で、『キャンドルファイア』で盛り上がりました。今まで雪合戦ばかりだったので、気分を変えて、盛り上がり、楽しみました。リーダーがしてくれるレクリエーションに体を沢山動かし、声を大きく出し、楽しみました。



三日目： 起床時間まで廊下は静かで、起床時間まで皆ぐっすりと眠られていました。朝食前に布団を畳み、荷物の整理を行いました。朝食後は部屋や共有スペースの清掃です。みんなで協力して、「来た時よりも美しく」を目指して掃除しました。清掃後は最後の雪遊びを行いました。雪合戦の前にお楽しみのソリ滑りを行いました。これまで雪合戦のみしてきたので、違う活動として大いに楽しみました。初めはすぐに転倒し、なかなか上手に滑れませんでした。何度もこなしていくうちに最後まで滑る事ができる方も増えてきました。ソリ滑りを楽しんだ後は、最後の試合が引き分けで終わったので、最終試合を行いました。どちらも「勝ちたい！」気持ちが前面に溢れ出て、こちらまでヒシヒシと伝わってきました。雪玉を準備し、最後の作戦会議をしたら、試合開始です。どちらも強引に行かず、慎重に相手の出方を探りながら、戦っておられました。その中で、玉に当たると本当に悔しそうにされている姿が見られました。制限時間が刻一刻と迫る中、尚も慎重に動き続けた結果、最終試合も引き分けで終わりました。悔しそうにされている姿も見られましたが、それ以上に力を出し切った、やり切った気持ちの方が強く、その結果に誰も文句を言われませんでした。みんなで作ったコートキレイに整地し、雪合戦会場を後にしました。施設に戻ると、使った道具の片付けや、ウェアなどを片付けました。昼食後、荷物を持って施設を出発し、バスに乗り込みました。帰りのバスでは談笑されている方やゆっくり休まれている方もおられました。尼崎に帰ってくると、さっきまで銀世界にいたギャップに少し寂しさを感じておられるようでした。



<キャンプ総括>

昨年、一昨年に比べて今年は雪が沢山あり、存分に雪合戦をすることが出来ました。今回は人数の都合から2グループだったので、ひたすら戦い続けました。戦況は一方のグループに勝ちの偏りが強く、なかなかもう一方が勝ち抜く事が出来ませんでした。負け続ける事に負の雰囲気漂い始めましたが、ある時から話し合いがなされると徐々に勝率が上がってきました。その変化に一人、また一人と気づき始め、何が大切かを感じ始めたようでした。それに対して、序盤勝ちを重ねていたグループも焦り始め、勝とうとする意欲が生まれていました。午前是比较的一方的な状況でしたが、午後からは拮抗していきました。雪合戦は攻めなければ勝ちはありませんが、攻め方を考えないと負けてしまいます。それにメンバー全員が気付いた時、皆の表情は真剣そのものでした。遊びですが、真剣勝負まで昇華出来たみんなの成長が何より嬉しかったです。

(竹中 哲郎)